

日本建築学会建築文化週間 学生グランプリ 2014「銀茶会の茶席」作品募集

日本建築学会では、実際に使用される建築物を設計、制作する機会を建築を学ぶ学生の皆さんに提供します。ここでは全銀座会からの依頼を受け、10月に銀座通り周辺で開催される「銀茶会」*の中で実際に使用される創作茶席の設計・製作案を募集します。設計課題等の授業のように設計した課題に対して講評を受けるだけに留まらず、依頼者のために誠意ある提案を行い、設計者に選定された場合は責任をもって実施設計と製作を行っていただきます。これらの経験を通じて、同世代の仲間との交流や建築のおもしろさ、難しさを是非体験してください。

*「銀茶会」は、年に一度、銀座通りの周辺にお茶席を設けて行われる野点大茶会です。当日は、表千家、裏千家、武者小路千家、江戸千家、遠州流茶道の五流派のお茶席のほか、点茶の体験コーナーがあり、2014年で13回を迎えます。2009年から、学生の設計・製作による創作茶席を展示・使用しています。 これまでの実施作品

主催：日本建築学会

共催：全銀座会

募集概要

依頼者：全銀座会

対象：建築系の学校（大学院、大学、短大、高専など）に通う学生3名以上のメンバーで構成された設計チーム。構造系のメンバーを含めることが望ましい。

規模：2畳を基本とします。

用途：「銀茶会」（詳細上記のとおり）で使用される創作茶席

材料・構造・仕上げ：自由。ただし、茶席での使用が安全に行えること。また、作品に壁がある場合には開放可能な（外からお点前の様子が見える）構造としてください。

審査：下記のとおり2段階の審査とします。

審査の流れ

- 1) 建築会館（東京都港区芝 5-26-20）にて第一次審査を行います。
- 2) 第一次審査で入選した応募者上位2～4チームは、建築会館にて建築文化週間中に開催される第二次審査までに実施設計および1/1模型の製作を行ってください。
- 3) 第二次審査で入賞（金賞、銀賞）作品を決定します。入賞したうち1チームは、東京・銀座で開催される「銀茶会」のお点前に実際に使用される茶席を製作してください。

スケジュール

応募締切日：8月6日（水）（当日必着、持参の場合は17:00まで）

応募作品展示：8月8日（金）～15日（金）（建築博物館ギャラリー）

第一次審査：8月12日（火）（建築博物館ギャラリーにて公開審査）

1/1模型制作説明会：8月21日（水）

第二次審査：10月5日（日）（建築会館イベント広場にて公開審査）

銀茶会：10月26日（日）（展示10月23日（木）～10月27日（月）於：東京 銀座三越新館 9階テラス）

審査方法

第一次審査

提出物：

- ① 1/10 模型（積上げできる箱に梱包）
- ② A1 パネル 1 枚（裏面に応募用紙を貼り、パネルの表面には、応募者を特定できる情報を記載しない）
- ③ 応募用紙（本会ホームページより所定の応募用紙をダウンロードして必要事項を記入。応募用紙データを別途事務局宛に電子メールにてお送りください。）

注）応募作品は原則として返却しません。特に返却を必要とする場合は、その旨を応募用紙備考欄にお書き添えください（当方による費用負担はいたしません）。

日時：2014 年 8 月 12 日（火）13:00～15:00

会場：建築博物館ギャラリー（東京都港区芝 5-26-20）

入選：2～4 チーム

応募方法：郵送・宅配便等にて下記の応募先に送付、もしくは持参

応募締切日：2014 年 8 月 6 日（水）必着（持参の場合は当日 17:00 まで）

第一次審査・審査員

< 審査員長 >

小野田泰明（東北大学教授／建築文化事業委員会委員長）

< 審査員 >

五十嵐太郎（東北大学大学院教授）

井内 雅子（大成建設設計本部シニア・アーキテクト）

鶴飼 哲矢（九州大学大学院准教授）

小笠原 伸（白鷗大学教授）

斎藤 公男（日本大学名誉教授）

佐藤 淳（佐藤淳構造設計事務所主宰）

笹尾 光（BS 日テレ総務経理局長兼ライツ・考査室長）

田中 元子（モサキ代表）

中谷 正人（中谷ネットワークス代表）

濱野 裕司（竹中工務店東京本店設計部設計 ISD 部長）

藤村 龍至（東洋大学講師／藤村龍至建築設計事務所主宰）

細澤 治（大成建設設計本部副本部長）

松田 達（東京大学助教／松田達建築設計事務所主宰）

宮里 直也（日本大学准教授）

山本 豊津（東京画廊代表取締役社長）

細野 佳代（株式会社曙代表取締役社長）

第二次審査

提出物：1/1 模型（銀茶会での実施を見込んで製作する）、A1 パネル 1 枚

日時：2014 年 10 月 5 日（日）13:00～15:00

会場：建築会館イベント広場（東京都港区芝 5-26-20）

審査会場での製作期間：9月30日（火）～10月4日（土）

賞：金賞、銀賞

第二次審査・審査員

<審査員長>

丹下 憲孝（丹下都市建築設計代表取締役）

<審査員>

本阿彌守光（武者小路千家）

伊藤 明（全銀座会催事委員長）

村上 英之（三越銀座店長）

小野田泰明（東北大学教授／建築文化事業委員会委員長）

鵜飼 哲矢（九州大学大学院准教授）

中谷 正人（中谷ネットワークス代表）

宮里 直也（日本大学准教授）

応募条件・サポート等

- 1) 応募作品は応募者を含む学生ボランティアチームにて期間内に製作可能なものとします。学生ボランティアは原則応募者が募集してください。
- 2) 第一次審査で入選した2～4チームには模型材料費として1チームあたり15万円ずつサポートします。原則として模型材料購入・運搬費とします。遠方のチームは旅費、宿泊費として使用することができます。ただし、飲食費等には使用できません。
- 3) 第一次審査で入選した2～4チームは、構造設計の専門家からのエスキスチェックを受けることができます。
- 4) 第二次審査で入賞したうち1チームには銀茶会での実施製作費として上限20万円をサポートします。
- 5) 実施製作する作品については、主催者が必要と認める範囲内において、使用材料等の仕様について安全性等の面から変更を求めることもあり得えます。

応募先・問合せ

日本建築学会建築文化週間学生グランプリ係

〒108-8414 港区芝5-26-20 TEL 03-3456-2056 e-mail mishima@aij.or.jp

事務局担当 三島

整理番号

建築文化週間 学生グランプリ2014 応募用紙

応募日	2014年 月 日		
作品名			
応募者 (代表者を筆頭にしてください)	氏名	所属(学年もご記入ください)	専門(意匠、構造など)
代表者連絡先	自宅 所属 (どちらかを○で囲ってください)		
	住所	〒	
	電話番号		
	e-mail		
使用材料			
備考(仕様など)			